

能代公園の整備方針（案）への意見募集（パブリックコメント）の結果について

能代公園の整備方針（案）について、意見募集（パブリックコメント）の結果を公表します。
このたびは、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

- 1 募集期間：平成27年1月13日（火）～平成27年2月12日（木）
- 2 募集方法：地元紙及び広報のしろ、市ホームページで期間を周知するとともに、ホームページからのダウンロードによる閲覧のほか、本庁都市整備課、二ツ井地域局建設課、各地域センター、出張所に閲覧資料を置き、意見を募集しました。
- 3 寄せられた意見書：3通
4. 提出された意見等の概要及び市の考え方

番号	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>【身近な自然に親しむ・施設の充実】 白神山地や米代川が一望できるロケーションだが、樹木が邪魔をして十分に見渡すことができません。そのために展望台（できれば城風）を設置することにより、白神山地や米代川以外にも旧市内全域や火力発電所・港が見渡せるようになり、多くの人出が期待できる。</p> <p>【公園・緑地の防災性向上】 1. 清助町等住民の津波発生時の避難場所として認知されていますが、公園までの経路が現在は主なルートで龍泉寺階段と五智坂の2ルートがメインです。その間には急な勾配の細い通路様な道がありますが、高齢者では非常に困難を極めます。市には清助町連合自治会より避難路の整備を要望していますが、県・市・民地等の問題から進展していません。行政として積極的にこの問題を解決していただきたいと思えます。できないことを言うのではなく、どのようにしたら解決するかを考えていただきたいと思えます。 2. 清助町1丁目～3丁目地域の住民は公園に隣接しており、住宅火災が発生の場合、消火栓は道路上のみであり、道路側のみしか消火活動ができないことから、高台である公園側に消火栓を設置することにより、迅速に広範囲に消火活動が実施できることから、消火栓の設置を要</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>【身近な自然に親しむ・施設の充実】 能代公園の整備にあたっては、ロケーションの良い自然の地形を活かすため、公園からの景観を阻害しているアカシアの除去や樹木の剪定等を行い、景観の確保に努めてまいりたいと考えております。 また、現段階では、老朽化した既存施設の更新を優先して取り組みたいと考えており、ご提案の展望台の設置については、今後の参考とさせていただきたいと思えます。</p> <p>【公園・緑地の防災性向上】 1. については、津波からの避難は、市が主要な道路を「避難路」として指定し、地域住民の皆さんが実際に避難するルートは「避難経路」として地域の皆さんが実情に合わせて決めていくこととなります。 清助町周辺の津波避難については、高台である能代公園まで避難することになりますが、平成25年度に清助町地内の電柱2箇所、海拔と能代公園までの距離及び方向を示す看板を設置しております。今後も各地域の状況を踏まえ必要な場所に設置していく計画です。 能代公園北側の2箇所の階段については、急傾斜地対策として県が工事を行なった際に管理用通路として設置されたものです。この階段をスロープに、とのご要望がありますが、スロープ化に必要な傾斜や通路敷地を確保するためには、用地の確保や工法の問題など</p>

	<p>望します。(現在は能代一中側の消火栓からホースを引くとの考えですが、時間がかかることから、公園上に消火栓の設置を望むものです。)</p>	<p>様々な課題がありますので、今後の研究課題とさせていただきたいと考えております。なお、階段を使つての避難が困難な場合については、五智の坂を上るルートやお旅所側の通路を上るルートを通ることもご検討くださるようお願いいたします。</p> <p>2. については、消火栓をはじめとした消防水利の整備を行う際には、総務省消防庁が定めております「消防水利の基準」に従い、また能代消防署とも協議をしながら行っています。</p> <p>ご要望の1丁目～3丁目地域は「消防水利の基準」では、「防火対象物から一の消防水利に至る距離が、100メートル以下となるように設けなければならないこと」となっております。この地域については、既に消火栓等が整備されており、消防水利の基準を概ね満たしております。有事の際には、能代消防署西消防出張所の水槽付消防ポンプ自動車に火災現場の直近に配置し消火活動を開始するとともに、既設の消防水利に配置した消防ポンプ自動車等からの補給注水を受けながら火災対応を行う計画となっており、能代消防署より消火活動には支障がない地域であるとの意見をいただいておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>
2	<p>提案</p> <p>下記①②③に関連するものとして、公園の造営以前からあるケヤキの森に着目、「つかみ植えのケヤキの森」として、観光や教育に活かすことはできないか。</p> <p>①P4 キーワード 1「身近な自然に親しむ」>「現状」>「能代公園内には檜の大木や良い松などがあり、身近に自然を感じることができます。」</p> <p>②P8 <能代市みどりの基本計画>基本理念＝緑の価値に気づき、守り、活かす</p> <p>③P10 「能代公園利活用懇談会において出された主なご意見」>施設の充実>「桜、つつじの季節以外は魅力が不足している（問題点）」</p> <p>通年で見られるものとして、なるべく予算を掛けず、今あるものに魅力や価値を見つけることを考えたい。そこで注目したいのが、園内にあるケヤキ群。北側斜面にあるケヤキ群落は樹齢300年を超え、そのほとんどが株立ち状となっている。これは、「つかみ植え（寄せ植え）」の手法によるもので、これだけ多くの木が集中している所は珍しい。「あがりこ大王」で有名な</p>	<p>専門的見地からのご提案ありがとうございます。</p> <p>なお、能代公園内のケヤキのPRについては、植栽された経緯が不明のため、由来の紹介までは難しいと考えますが、全国的にみても上位の巨木であることから、今後の整備計画策定の中で、その手法について、検討してまいりたいと考えております。</p>

	<p>鳥海山のブナの巨木は、1本の木の太い幹を低い位置で切り、そこから出てきた枝が巨大化したものであるが、能代公園のケヤキは、複数の若木を寄せ植えし、若木の成長と共に幹同士が癒着して1本の木になったもの（寺社の境内植栽によく見られる）。能代では、昔から風よけのためにケヤキを植えてきたが、丘陵地の北側に生えるこのケヤキ群も、北風を防ぐために植えられたものかもしれず、早く防風効果を果たさせるために、複数の木を合体させて大きな木をつくらうとしたのではないか。ケヤキは黒松の植栽法が確立する以前から植えられており、風の松原と隣接する能代公園にその植栽が見られるのはとても興味深く、こうした由来には文化的な価値を見出せる。「福島県にはあがりこのケヤキの森」があり、観光や教育に活かされているが、能代公園でも由来の看板などを付け、こうした特徴樹形の森があることをPRしていけば、観光や教育に活かせるのではないか。また、公園のケヤキで最大のものは、2000年の環境省巨木調査で「幹周 1395 cm 主幹 521 cm 樹高 25m」と計測されており（参照 環境省巨樹巨木データベース）、ケヤキ部門の「幹周」では、上位6番目に出てくる（第一位は大館市の「出川のケヤキ」幹周 1709 cm 主幹 771 cm）。特に看板などないが、地域の人たちの間では昔から「ご神木」と呼ばれ、宮腰喜久治画伯もこの木の絵を描いている。能代公園でも飛びぬけて大きいこの木は、巨樹マニアの間でも有名で、ケヤキ公園の大ケヤキと合わせて、全国各地からの訪問者が絶えない。この公園の大ケヤキは、株分れの位置が低いために「株立ち」とみなされ、主幹のサイズを重視する巨樹としての評価は下がるが、ケヤキの東の横綱と言われる山形県東根市の大ケヤキも、2本の木がくっついて1本になったもの。東根の大ケヤキは樹齢1000年を超えるが、巨樹の研究機関によると、樹齢300年ほどの能代公園の大ケヤキも、あと百年もすれば幹同士の癒着が進んで幹の位置も高くなり、巨樹としての価値がさらに増すと思われるとのこと。「あがりこ」も能代公園の「つかみ植え」も先人の知恵から生まれたもの。能代公園の名物として、能代の名勝として活かしていければ素晴らしい。</p>	
3	<p>能代公園の整備方針（案）について、賛成します。更に一つの提案と二つの充実を求めます。提案というのは、能代公園に展望台を設置してほしい。そうすれば3-1の概要で述べているように①能代市街地 ②米代川 ③日本海 ④風</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。能代公園の整備にあたっては、ロケーションの良い自然の地形を活かすため、公園からの景観を阻害しているアカシアの除去や樹木</p>

<p>の松原 ⑤白神山地を一望に眺望できるようになるでしょう。コイン望遠鏡を設置すれば自分の家を見ることが出来るかもしれません。そうすれば、それを見ようと、公園に登ると市民の健康づくりに大きく貢献するでしょう。また、観光バスのお客様には白神山地、米代川、日本海、市街地を一望できるポイントとして、停車場所になるでしょう。</p> <p>充実の一つは、能代公園と風の松原（憩いの広場）と海岸との通路を整備し、案内板を設置することです。これは市民の健康づくりに貢献するでしょう。</p> <p>充実の二つ目は、多分配慮されているとは思いますが提案しておきます。公園の桜は「つつじ」が植栽してから桜の枯死が目立ちます。これは「つつじ」の生命力が強く、桜は「つつじ」の周辺では枯死するという事です。従って、桜とつつじは引き離して植栽するようにお願いします。</p> <p>以上三点を要望致します。懇談会委員各位の努力に敬意を表します。</p>	<p>の剪定等を行い、景観の確保に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、現段階では、老朽化した既存施設の更新を優先して取り組みたいと考えており、ご提案の展望台の設置については、今後の参考とさせていただきたいと思っております。</p> <p>能代公園と風の松原（憩いの広場）と海岸との通路を整備し、案内板を設置することについてですが、公園を案内する看板のほか、公園を相互に案内しあう看板などの設置も必要ではないかと考えており、今後、検討してまいりたいと考えております。</p> <p>現在策定中のスポーツ推進計画において、自然環境や屋外施設を活用したスポーツ・健康づくりの推進を図ることとしており、公園が市民の健康づくりに貢献出来るよう検討してまいりたいと考えております。</p> <p>つつじを植栽してから桜の枯死が目立つとのことですが、方針2の施策①において、桜やつつじについては適切な管理に務めることとしております。</p> <p>ご指摘いただいたご意見を受け止め、十分配慮した計画と致したいと考えております。</p>
---	--